

鳥井博郎 ひろる 思想史家。明治四十四年二月二十五日兵庫県生れ、昭和二十八年十一月二十一日没（九二―五三）。東京帝國大學卒。昭和八年唯物論研究會に加盟。また二枝博音編「日本初級學全書」、「日本科 學七冊全書」に關與し、戰後も二枝が校長の鎌倉アカデミアに教鞭を執つた。

著書に、『明治思想史』（昭和十年九月十七日、再刊・二十一年一月一日二葉書房「唯物論全書」。復刊・二十八年十一月十五日河出書房「日本近代史叢書」、のち、二十年七月二十日「河出文庫」）、『日本宗教思想史』（二枝博音共著、昭和十二年五月十七日二葉書房）、『現代日本史研究』（他に各々著、昭和十二年十月五日二葉書房）、『ロディードローナランス啓蒙思想への研究』（昭和二十二年四月二十日國土社）等。譯書に、ジョン・ロツク著『ロディードロシイの本質』（昭和二十二年十一月一日若草書房）等。

